

梅雨でもキャンプ行きます編

6月の連休、天気予報は曇り、緊急事態宣言も解除され、しばらくぶりの聖湖キャンプです。まだ買って一度も立てたことのないタープの試し張りが今回の楽しみ。暖かくなったとはいえ山の気温は夜になれば



ずいぶんと下がるだろうから、焚火の準備もしときます。じつは今日は”シュラブ”(寝袋)を持ってくるのを忘れまして。前にも忘れ物したのを思い出したのが丁度可部に入った辺りでしたが、今回も運転しながら忘れ物ないかと考えて気づいたのが同じところ。家に取りに戻ろうか、なくても何とかするか、どうしても時は車に逃げ込めばいいかと、そのままキャンプ場に向か

います。今回の晩飯はホットサンドメーカーで餃子を焼きます、あとステーキも。夕方風呂に入るため”いこいの村”が営業してるの確認してから現地に到着。テントと新品のタープを設営したら少し遅めの昼ごはんですがスーパーの弁当で簡単に済ませます。ビール飲みたいが、風呂に行くまではガマンします。テントとそろいのタープいいです！色、大きさ、気に入りました。

食後は柔らかな日差しの中で読書。睡魔に邪魔されながらもコーヒーの力を借りて頁をすすめる。時刻は午後3時、ちょっと早い風呂行きます。”いこいの村”まで戻り受付で「今日は風呂の改装中に入れません」ですって。営業しとるのは確認したが風呂の営業しとらんとはね、そこまでは確認しとらんかったわ。残念じゃが仕方ない、テントに戻ります。夕飯までの時間はたっぷりあるので、キャンプ場の隅々まで散歩します。今まで行ったことのないエリアまで行ってみます。今日のテントの数は10張かな、夕方5時からのお客もいます。70代の夫婦がうちの近くにテント立ててます。軽くご挨拶を「かわす。そこまでは良かった、..

6時くらいから米炊く準備初めて、7時にはうま焼けた餃子をほおばり缶チューハイで流し込みます。スキレットで焼いた肉もとっても美味です。同じく缶チューハイで流し込みます。そこまでは良かった。気温が随分と下がってきたのでシャツを重ね着して、焚火始めます。炎の揺らぎが酒の味を高めてくれます。老夫婦は演歌じゃなく浪曲らしき音楽を鳴らしてます。耳がとおいのか音量は大きい。時刻は10時をまわったが音楽の音量は下がることなく続いている。おまけにカシャカシャと擦れる音がするウインドブレーカーを上下着てアスファルト路を、足底を擦らせながら同じところを何度も往復しています。もしかして体力づくりの運動かも。周りが山の中の吸い込まれるような静けさの中だから、余計に引き立つ騒音。お願い静かにして！（心の叫び）

薪もなくなり、寒さも増してくるので時間は早い寝ます。腹にあるだけのタオルをかけて。午前2時、寒さで寝れない、キャンプ道具箱から使い捨てカイロの残りがまだは入ってないか探します。「あった！」2個見つけた。それでもまだ寒さはしのげません。まじでどうしようもない寒さ、ガマンできない。道具箱のサバイバルツールの中に見つけました、銀色の防災用アルミシートが入っていました。体に巻き付けて寝る。薄っぺらいシートですが水蒸気も出さないため確かに暖かいです、助かったこれで寝れる。良かった。6月の山は寝袋なしでは寝れません、それどころか危険でした。ほんま死ぬかと思うた。皆さんも気を付けて。

byあくたがわ

